

琉球病院 Monthly



独立行政法人
国立病院機構 琉球病院
National Hospital Organization RYUKYU Hospital

Vol.61
2018. January

発行者 琉球病院事務部長
有岡 雅之

基本理念 この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

謹賀新年

院長 福治康秀



皆さん、新年あけまして、おめでとうございます。

旧年中は、何かとお世話になりました。今年も、どうぞよろしくお願いいたします。

今年、当院では重度心身障碍児(者)病棟と作業療法棟の建て替え工事が完成となります。新精神科病棟(東病棟)に次いで、建て替え工事の2期工事が進んでおり、今年の半ばに完成する予定です。アメニティの向上とともに、さらにサービス向上を図っていきます。工事の期間中は、何かと不便をかけているかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。また、急性期病棟(東1)も診療機能を上げるために改修工事を行っています。こちらも、ご協力ありがとうございます。

今年も、臨床、教育、研究の各方面でレベルアップを目指します。臨床面では、各専門医療や精神科急性期医療のさらなるレベルアップ、教育面では、新専門医制度への対応を中心に、研修医や医学生そして各職種の教育研修、研究面では、臨床に即した研究や治験の推進を図ります。

その一方で、働き方改革を推進し、ワークライフバランスのとれる病院をさらに目指します。

今年は戌年(いぬどし)です。戌年(いぬどし)の特徴として、“勤勉で努力家”とあるそうです。我々も、勤勉にしっかりと努力して、さらによりよい病院となり、よりよいサービスを皆さんに届けていくよう頑張ります。そのためにも、各関連機関の皆さんとの連携がとても重要です。今年も、各種連携をお願いすることになるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

トピックス

行事・出来ごと

- 病棟等建替 進捗状況 本体工事：新病棟(第1期工事)完成 平成27年7月
- 整備の動き 雨水配水管盛替工事 完成 平成29年2月
- 新病棟(第2期工事) 完成予定 平成30年10月

● 地域医療連携室だより

琉球病院では、受診相談や地域、行政、他医療機関からの窓口として地域医療連携室を設置しております

一般精神をはじめ、アルコール依存症(アディクション全般)、治療抵抗性統合失調症治療薬で効果のあるクロザピンによる治療、児童思春期外来といった様々な疾患をお受けできる診療体制を整えております。

また、中北部圏域を中心とした地域の皆様によりよい質の医療を提供し、適切な対応ができるよう充実した取り組みを行い、地域のニーズに応えられるよう日々努力していきたいと思っております。また、受診のご相談はお気軽に地域連携室までお問い合わせください。



空床状況

精神科病棟
2床

認知症
16床

アルコール
15床

児童思春期ユニット
4床

12月27日現在

※ 入院予約に関するお問い合わせは地域医療連携室へご相談下さい。

院長

福治康秀(ふくじ やすひで)
1964年生まれ、那覇市出身、
首里高校卒。

1993年琉球大学医学部卒、
琉球大学医学部精神神経科入局。
95年那覇市立病院精神科、96年
琉球大学精神神経科、2009年琉球病院精神科部長、
2010年副院長を経て2014年琉球病院長に就任。
日本病院・地域精神医学会理事。



診療科

- 一般精神科
- こども心療科
- 物忘れ外来
- アルコール依存症等外来

病床数 406床

- 精神科病棟 181床
- 認知症 50床
- アルコール 54床
- 児童思春期
ユニット 4床
- 重症心身
障がい 80床
- 医療観察法 37床



● アクセス

路線バス/那覇BS(下り)または名護BS(上り)より沖縄バス
[77番名護東線]浜田バス下車徒歩3分
自動車/那覇市から40分
沖縄自動車道金武インターから名護向け5分

NHO PRESS~国立病院機構通信~について

NHO PRESS 国立病院機構通信

琉球病院は、国立病院機構(NHO: National Hospital Organization)という143の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。

国立病院機構(NHO)という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する「NHO PRESS~国立病院機構通信~」を発行しています。外来ロビーに設置していますので、ぜひご覧になってください。

なお、ホームページに最新号と過去のものを掲載していますので、そちらもぜひご覧になってください。「NHO PRESS」で検索してください。

NHO PRESS 検索 QRコード

お問い合わせ時間
8:30~17:15(土・日・祝日以外)
TEL: 098-968-2133(代)
内線: 231・234
地域医療連携室(直通)
TEL: 098-968-3550
FAX: 098-968-7370

治療抵抗性精神疾患への医療



クロザピンの治療状況

平成22年から治療抵抗性統合失調症の患者様に対してクロザピン(CLZ)治療を開始し、全症例は220例になりました。平成29年11月のCLZ導入は1例で、当院に入院中の患者様でした。CLZ治療前には暴力行為や多飲水などの問題行動のために隔離が必要な患者様も多くいらっしゃいましたが、CLZ継続例では問題行動も少なくなり、隔離は解除できています。週に3回の専門外来も行っていますので、患者様のご紹介をお願いいたします。

m-ECT (修正型電気けいれん療法) の治療状況

当院では、m-ECT(修正型電気けいれん療法)による治療を行っております。平成29年11月の治療実績はありませんでした。

こども心療科

沖縄県子ども心の診療ネットワーク事業の一環で、子どもの心理療法・家族療法を専門にされている東京学芸大学教授の大河原美以先生をお招きし、「感情コントロールできない子への理解と援助」というテーマで講演会を開催します。

関心のある方は、こども心療科医療ソーシャルワーカーの佐藤まで連絡下さい。

日時: 平成30年 2月12日(祝・月) 会場: 沖縄県医師会館(南風原町) 3階ホール
14:00~17:00(受付13:30~) 定員: 130名(先着申し込み順)
参加費: 無料



認知症医療

12月に入り、だいぶ冷え込みの厳しい時期となりました。インフルエンザの流行や肺炎など感染症対策が必要な時期でもあります。当病棟の患者様は高齢の方が多く、日頃の体調管理に加え、保温や口腔ケアなどに注意し入念なケアをスタッフ一同取り組んでおります。新年も季節感を取り入れたレクリエーションを作業療法の一環とし、楽しく取り入れて行きたいと思っております。皆様のご協力を宜しくお願いします。

重症心身障がい医療

去る12月14日に西I・II病棟のクリスマス会が行われました。多くのご家族に参加頂き、ありがとうございました。

今年はクリスマス会では初となるパネルシアター「森のクリスマス」を行いました。利用者の方やご家族の方が盛り上げてくれました。その他にもサンタクロースやトナカイと一緒に踊ったり、サンタクロースからプレゼントの配布があったりととても楽しく笑顔の溢れる会となりました。今年のケーキは「まるめろ」というお店に注文し作って頂きました。ラズベリーのケーキ、ムースはとてもおいしそうでした。利用者の方もケーキの時間をとても楽しみにされている様子でした。多くの院内応援者や病棟スタッフ、ご家族のおかげで楽しくクリスマス会を終えることができました。

新年は新病棟で楽しいクリスマス会が出来ることを楽しみにしています。



アルコール・薬物依存医療

平成25年5月27日、アルコール依存症の新しい治療薬「レグテクト」が発売となりました。レグテクトは、アルコール依存症の方の強い『飲酒欲求』を直接和らげてくれる作用があります。当院では11月末現在、外来通院の患者様87名、入院中の患者様21名の方が服用されています。内服している方は「飲酒欲求が軽減した」と話され、再飲酒の抑制につながっています。また、当院の外来での調査では、レグテクト内服を継続している患者様が、治療継続率が高いという結果も出ております。患者様へは、適宜導入を勧めています。断酒が困難な方は、ぜひ外来を受診し相談して下さい。

包括的地域精神医療

平成29年11月の訪問看護利用は、712件で新規・再開は8名の申し込みがありました。師走を迎え、今年も残り2週間で終わります。何かと忙しい日々を訪問看護においても感じるこの頃です。12月に入り、本格的な冬が到来し寒さが増し風邪やインフルエンザの流行の兆しがあります。早めに対処を行い予防をしていきましょう。

訪問看護は、今年は12月28日までの活動となります。年明け、平成30年1月4日から訪問看護が開始となります。年末・年始の過ごし方や服薬管理など確認し、不安に対し積極的に相談を行い、良い正月を迎えることが出来るようにしましょう。

臨床研究部活動状況

新年明けましておめでとうございます。

昨年、マンスリーに掲載いたしました臨床研究部の活動状況について、当院スタッフが行なっている臨床研究の報告に加え、大学・他機関の先生方に当院でご講演していただいた内容についてもご紹介させていただきました。おかげさまで、研究機関や他機関との横のつながりが増え、共同研究をさせていただく機会が増えました。これまで研究というものに馴染みが少なく、敷居の高い印象がありましたが、現在では多くのスタッフが関わり、研究的視点を持って臨床に臨むことが少しずつ浸透しております。患者様のために高度な医療を提供し、エビデンスに基づいた精神医療を提供できるよう、今年も情報発信していきたいと存じます。今年もよろしくお願いたします。